

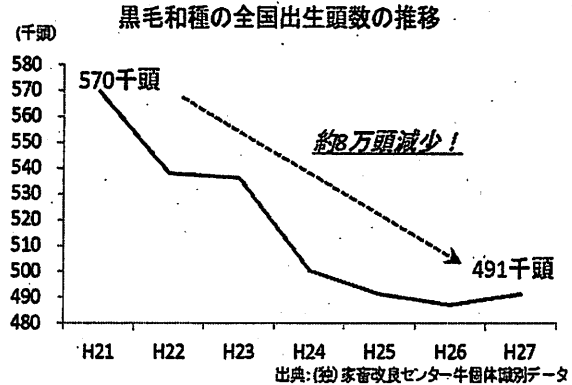
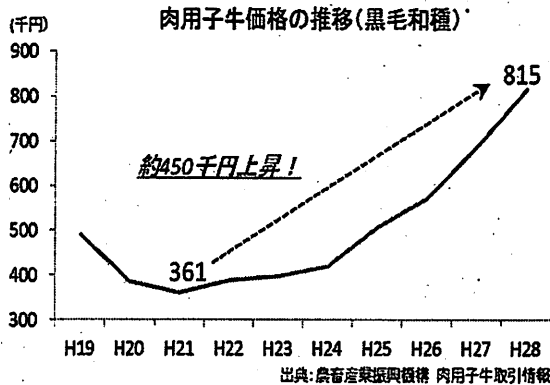
キャトル・ステーションの運営について

1. 目的

近江牛は、肥育素牛の多くを県外から購入しており、子牛価格の高騰が続く中、安定確保に向けた地域内一貫生産体制の強化を図る必要があることから、畜産技術振興センターが担う従来の繁殖雌牛供給機能に加え、乳用牛への和牛胚移植の推進により和牛子牛の生産頭数の増大とともに、酪農家の収益性向上を図る。

★全国の状況

黒毛和種の出生頭数の減少に伴い、子牛の取引価格が高騰している。肥育素牛の多くを県外から購入している我が県の肥育農家は厳しい経営環境となっており、県内での和牛子牛の安定確保を図る必要がある。(※H27年度中に出荷された黒毛和種の県外産の割合 約88%)



2. 運営主体

滋賀県

整備場所：畜産技術振興センター敷地内（蒲生郡日野町山本695）

3. 運営計画

別紙のとおり

4. 実施スケジュール

	H28年度			H29年度					H30年度					H31年度										
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
施設整備																								
牛胚生産・移植																								
子牛販入・販売																								

施設整備: 造成・設計終了 (★) H28年3月
 入札公告 H29年6月
 契約の承認(9月議会) H29年9月
 契約・着工 (キャトル・ステーション整備) H29年10月
 胚移植開始 (★) H29年10月
 供用開始 (★) H30年7月
 分婍開始 (★) H30年8月
 産子の買入開始 (★) H30年8月
 子牛の販売開始 (★) H31年4月

5. 収支見込み

子牛の販売が始まる平成 31 年度から、収入が支出を上回る見込み

(単位:千円)

		H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
支出	牛胚生産	23,016	5,270 (2,459)	5,270 (2,459)	5,317	5,363	5,363	5,363	5,363	5,363	5,363	5,363
	施設整備・運営費	51,341	317,181 (158,590)	841,898	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000
	牛生産管理	0	31,300	164,361	220,853	220,061	219,951	220,061	219,951	248,776	219,851	220,061
支出計(①)		74,357	353,751	1,011,529	235,170	234,424	234,314	234,424	234,314	263,139	234,214	234,424
収入	子牛販売			4,860	232,992	235,125	235,125	235,125	235,125	235,125	235,125	235,125
	牛胚販売		9,828	19,656	19,838	20,020	20,020	20,020	20,020	20,020	20,020	20,020
	収入計(②)	0	9,828	24,516	252,830	255,145	255,145	255,145	255,145	255,145	255,145	255,145
収支(②-①)		▲ 74,357	▲ 343,923 (▲ 182,874)	▲ 987,013 (▲ 984,554)	17,660	20,721	20,831	20,721	20,831	▲ 7,994	20,931	20,721

※子牛の買入および販売価格は、計画策定時の単価 (H26 年実績) で試算したものであり、実際は市場動向により算出するので変動する。

※H36 年度は、繁殖牛の更新により支出が収入を上回る見込み。

※支出の()は国庫補助金額、収支の()は国庫補助金分を減じた額。

※施設整備費のうち、国庫補助金を除く部分に県債を充当。償還計画は未定。

6. 期待される事業効果

- ・持続可能な生産体制の構築により、肉牛農家の増頭意欲が高まり、近江牛の飼養頭数および出荷頭数が増加

※近江牛の出荷頭数増加による販売額の増加見込み 約 2 億 3 千万円 (年間 180 頭)

- ・和牛子牛の県内生産頭数の増加に伴い、肉牛農家における肥育素牛の安定確保、購入経費の低減などによる肉牛振興
- ・酪農家における和牛子牛の生産・販売に伴う収入増加による酪農振興
- ・地域内一貫生産体制の強化による高品質で安全・安心な近江牛のブランド力向上および消費者への安定供給
- ・産地と品質を結びつけた近江牛のブランド力を活かし、観光部局との連携による地域の活性化

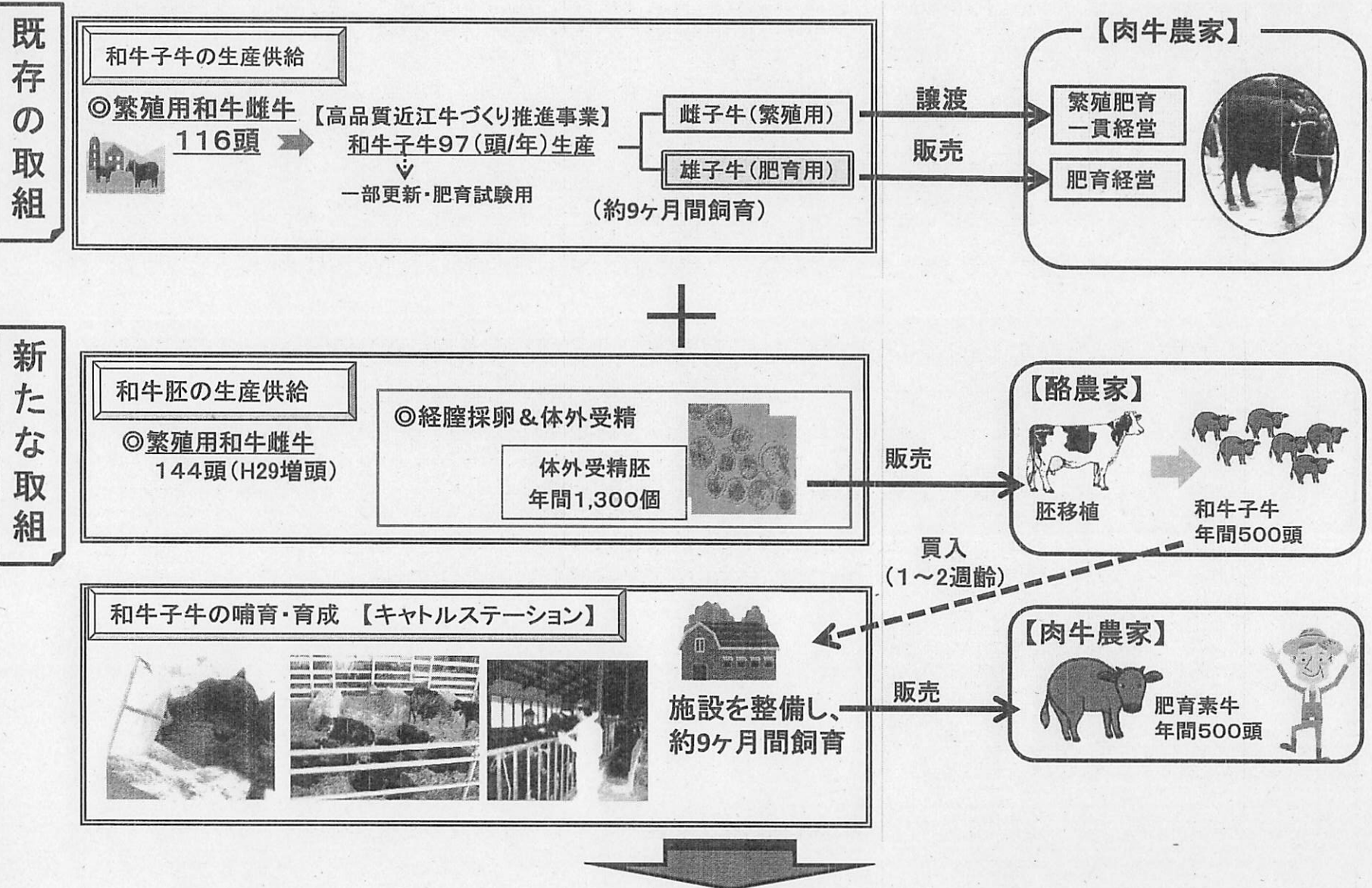
★近江牛の生産振興計画

(単位:頭)

項目	H26 (現状)	県基本構想の年次計画				H32 (目標)
		H28	H29	H30	H31	
近江牛の飼養頭数	12,165	12,800	13,100	13,400	13,700	14,000
和牛子牛の出生頭数	975	1,150	1,230	1,820	1,930	2,040

※H32目標: 滋賀県農業・水産業基本計画

畜産技術振興センターにおけるキャトル・ステーションの整備



酪農家の収益向上、近江牛の地域内一貫生産体制の強化